

「洋服の青山」スーツの流通・販売における ユビキタスID基盤の利用

2005年12月1日

YRP Ubiquitous Networking Laboratory

本プロジェクトの特徴

本ユビキタスIDセンターのucodeタグの採用

国を越え、組織を超えるRFIDによる統合管理

日本と中国間で、国を越え...

工場、倉庫、海運コンテナ、流通センター、トラック、店舗まで、組織を超えて...

一つのRFIDを多角利用

商品に製造段階からつけた一つのRFIDを

流通管理、品質管理、店舗での商品情報提供サービスなどに

青山商事の実用を前提にした取り組み

本プロジェクトの目的



アジア諸国との衣料流通モデルの変革

スーツの一つ一つにucodeタグを取り付け、全工程でのより確実な単品管理を実現

効率化

仕上げ・仕分け工程をより上流で実施し、日本の各拠点へのダイレクト輸送を実現することによる効率化

輸送中の温度・湿度等の情報を細かく収集し、しわ等の補正作業を効率化

品質のさらなる向上

さまざまな工程において、一つのRFIDをさまざまな応用に活用し、品質情報をフィードバック

実証実験の概要



次の2つの実証実験を実施

流通実験

スーツを対象に生産工場から店舗に至るまでの各拠点における入出荷および工程情報などをucodeタグを利用してデータベースで一括管理

輸送中のトラック・コンテナ内の温度・湿度・衝撃の状態を収集

店舗実験

スーツの個品単位にucodeタグを取付け、リーダ付きのキオスク端末および携帯端末を利用して、お客様に対して最適な商品情報を提供

スーツに取付けられたucodeタグを利用して、サイズ・色別の在庫管理をおこなう

今回の流通実験



期間

2006年2月17日頃から2週間程度

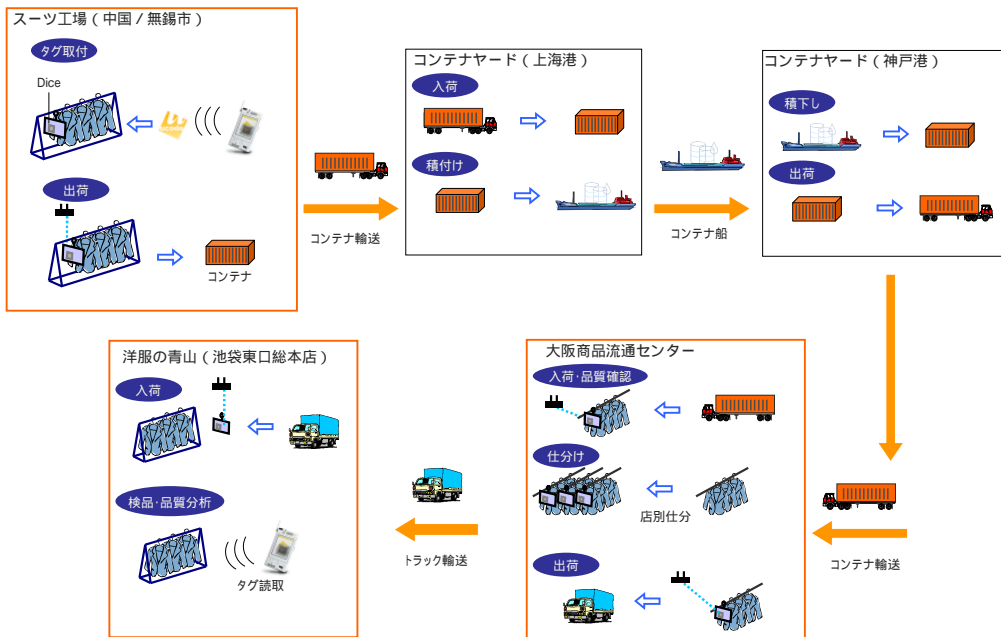
流通拠点

スーツ生産工場(中国/上海近郊)
海上コンテナ輸送(上海港~神戸港)
商品流通センター(大阪)
洋服の青山(池袋東口総本店)

対象商品

スーツ(1000着程度)

流通実験全体イメージ



今回の店舗実験



期間

2006年3月9日(木) ~ 3月15日(水)

3月9日(木) 11時からオープニングイベント開催予定

店舗

洋服の青山 池袋東口総本店 3階

対象商品

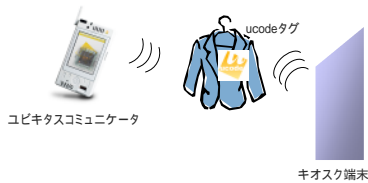
スーツ(400着程度)

店舗実験イメージ



ucodeタグを利用した商品情報提供

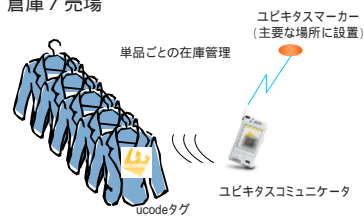
店舗売場



- お奨めの組み合わせ商品情報提供
手に取ったスーツに合ったワイシャツやネクタイなどの組み合わせ情報を提供する
- サイズ・色ごとの在庫(場所)情報提供
手に取ったスーツと同じタイプのサイズ違いや色違いのものの在庫情報を提供する。また、その商品が置いてある場所の位置を表示する。
- こだわり情報
スーツの素材や縫製に関するこだわり情報を提供する

ucodeタグを利用した在庫管理

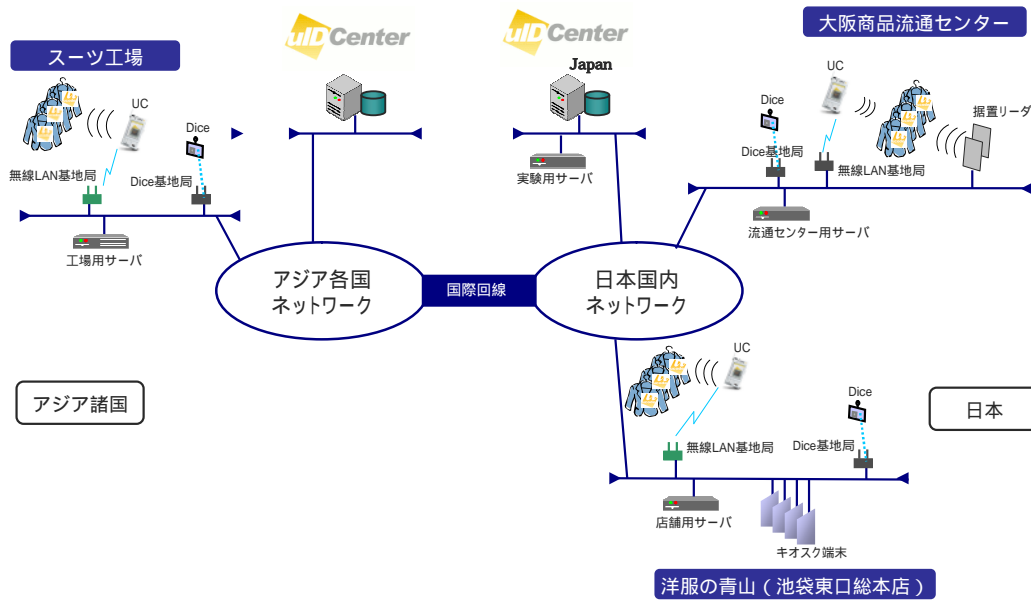
倉庫 / 売場



- 単品ごとの在庫管理
ユビキタスマーカーを利用してタグを読み込み、単品ごとの在庫情報を登録する。また、登録時に保管場所も登録する

一つのucodeタグを複数の応用に利用することが可能

実験システム構成図



今後の予定



工場や実験項目を変え実証実験を繰り返えし、コスト削減効果进行评估

本格運用のための設計

全体システム設計を確定

必要機材の設計を確定

システムの開発、必要機材の調達

再来年には実用に移行を目指す